

自分の表現を動画で撮影し、音読を工夫しよう

小学校2年 国語科「詩を読もう」音読発表会をして、感想を伝え合おう



1 2つの詩を読み、場面の様子を捉える

- ・ 詩を読み、場面の様子や登場人物の行動を捉える。
- ・ 言葉の繰り返しやリズム、響きの良さを見つける。

2 お気に入りの詩を選び、音読を工夫する

- ・ 2つの詩を読み比べ、お気に入りの詩を選ぶ。
- ・ 情景や気持ちが表れるように音読練習をする。
- ・ 音読する様子を動画に撮り、見直す。

⇒ **動画を繰り返し見ることで、声の大きさや間の空け方、抑揚、表情などを客観的に見ることができ、改善することができる。**

3 音読発表会をして、感想を伝え合おう

- ・ 友達の表現の良さ、詩の表現の良さを味わう。

- ◎ 動画に撮ることで、どのように伝わっているかを客観的に見ることができ、改善点が見つけやすい。
- ◎ 改善前と改善後と比較することもできる。それを班で見合うことで、全体に広めることもできる。
- ☆ 音楽科や生活科の発表の様子も動画で撮影することで、家庭へ持ち帰り視聴してもらうことができる。

白ペンを活用して、説明文を要約しよう

小学校4年 国語科 「目的を考えて条件に合う要約文をつくらう」



1 教科書の手本を教師用タブレットから全員に配付し手順を共通理解する

2 目的を考えて、100字程度になるように要約文をつくる

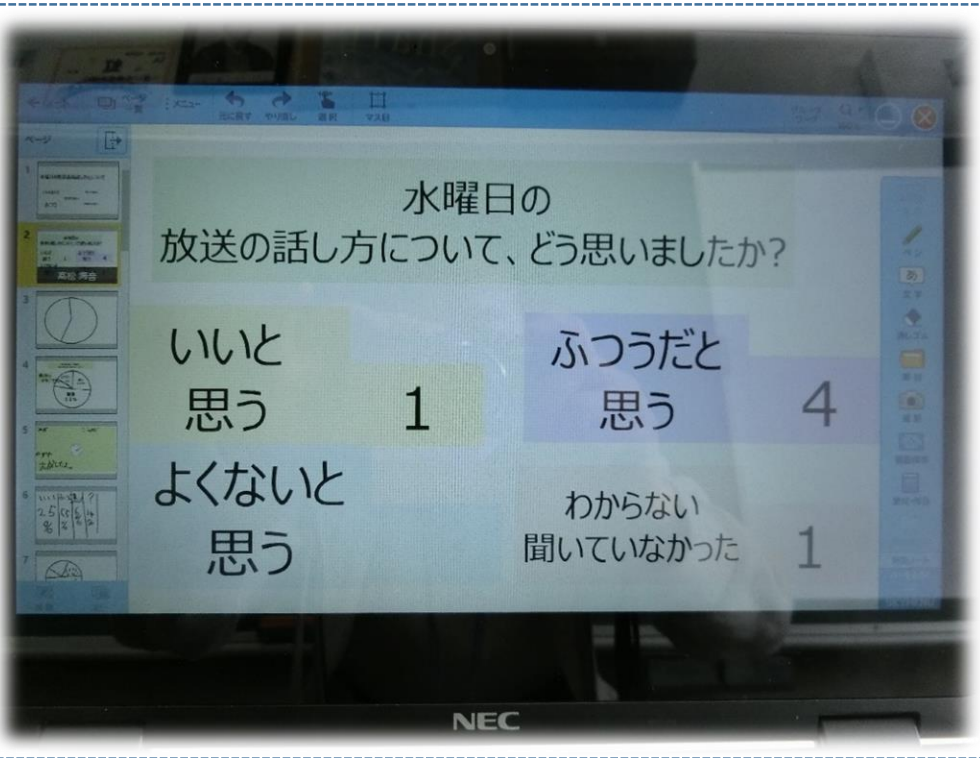
- ・必要のない文を白ペンで引いて文を消す。
 - ・目的を意識して、中心となる語や文を見つける。
- ⇒ **必要な語や文を選択し、修正や変更が容易にでき、繰り返し見直し、推敲ができる。**

3 タブレットを見ながら、プリントに100字程度になるように要約した文を書く

- ◎ 白ペンで塗りつぶすだけで文の削除が可能となり、学習意欲が継続する。
- ◎ 何度でも推敲ができるので、多様な思考の助けになる。

グループの友達と協力してプレゼンテーションを作成しよう

小学校6年 国語科 「具体的な事実や考えをもとに提案する文章を書こう」



1 プレゼンテーションデータを作成する

- ・提案するテーマについての現状と問題点を明確にし、役割分担をして、個人で考え、プレゼンテーションデータを作成する。

2 グループで推敲する

- ・自分の考えを持ち寄って、グループで話し合い、全体の構成を考えたり、お互いのデータを推敲し合ったりする。

⇒ **グループで画面を共有しながらプレゼンテーションを作成することで、必然的に対話が生まれ、より深まりのある提案にすることができる。**

◎ 目的を共有しながらプレゼンテーションを作成することで、よりよいものを追究できる。

◎ 常にデータを共有しているので、スライドの前後のつながりを考えながら、自分のプレゼンテーションを作成することができる。

☆ 修学旅行などの班別活動のまとめの発表にも活用できる。

【デジタルカードで本の紹介をする】～ロイロノートを使用して～

おすすめの本について、魅力が伝わるように表現を工夫しよう

中学校3年 国語科 「自分が選んだ本の推薦書を、他者に伝えるために書こう」



1 学習の見通しを持つ

- ・サンプルを見て、ゴールはプレゼンテーションをつくることだと確認する。

2 自分が推薦する本を読み、紹介したい内容を考える

- ・自分が推薦する本を1つ選ばせる。

3 タブレットを使って、カードを作成する

- ・教師が送ったサンプルカードを受け取り、参考にする。

⇒ **ロイロノートを使って、1枚のデジタルカードに本の魅力が伝わるようにまとめることができる。**

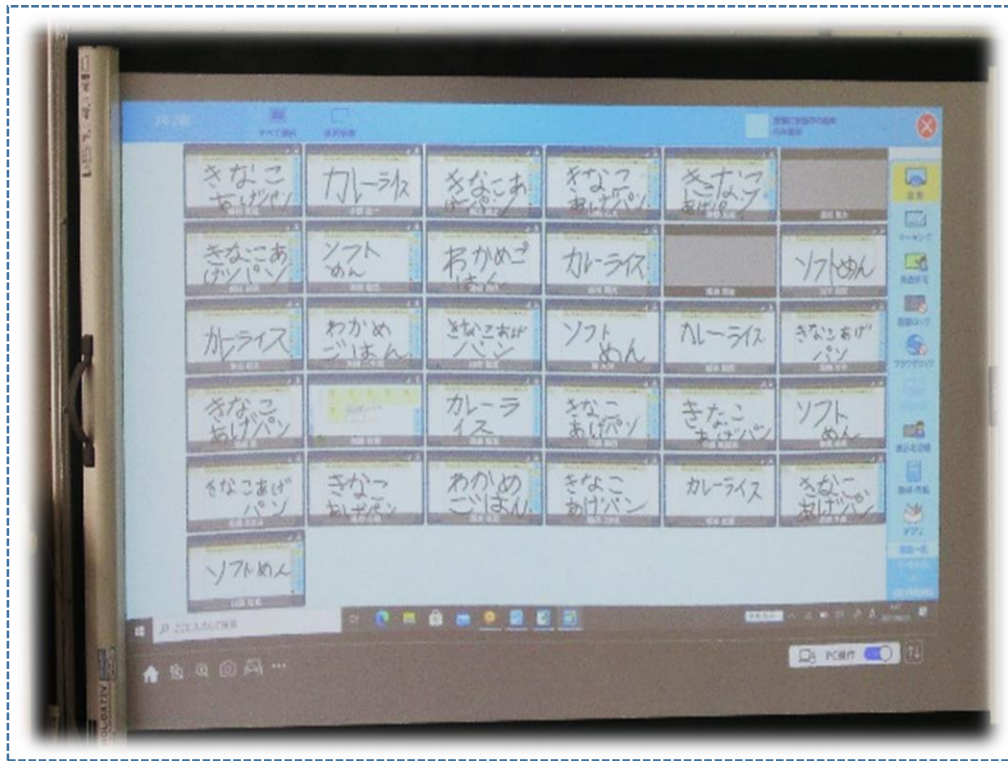
4 互いの作品カードを読み合う

- ・仲間の意見を聞いて、自分の考えをさらに深める。

- ◎ サンプルがあったことやタブレットを活用したことで、短時間でできあがった。
- ◎ 他の生徒の作品を見ることで、子供は、何度も読み直してすばやく書き直していた。
- ◎ 他の作品を見ることで、その本を読みたいと感じている生徒が多くいた。

身近な事象をアンケートで調べて、集計しよう

小学校3年 算数科 「アンケートを簡単な表にまとめよう」



1 好きな給食についてのアンケートをとる

- ・自分の考えを共有フォルダーに提出する。
- ・友達の考えを知る。

⇒ **自分の生活について考えることで興味・関心をもって取り組むことができる。**

2 アンケート結果を確認し、整理の仕方を考え、話し合う

- ・自分の考えをもって、友達と伝え合う。
- ・正の字にまとめる良さに気付く。

3 正の字を使って、アンケート結果を簡単な表にまとめる

- ◎ ノート機能を活用することで、効率よくアンケート結果を集約し、共有することができる。
- ◎ 一画面で瞬時に、アンケートの結果を確認することができる。

図形を動かして、四角形を仲間分けしよう

小学校4年 算数科 「台形や平行四辺形を見つけよう」



1 図形を仲間に分ける

・ 平行な辺の組の数に注目する。

⇒ **実際に図形を動かして、辺を重ねたり並べたりして視覚的に確認しながら取り組むことができる。**

2 グループワーク機能を使って、仲間分けした理由を話し合う

- ・ 自分の考えを発表ノートにまとめて提出する。
- ・ タブレット上の図形を動かしながら、グループの友達に自分の考えを説明する。
- ・ グループの考えをまとめ、全体で話し合う。

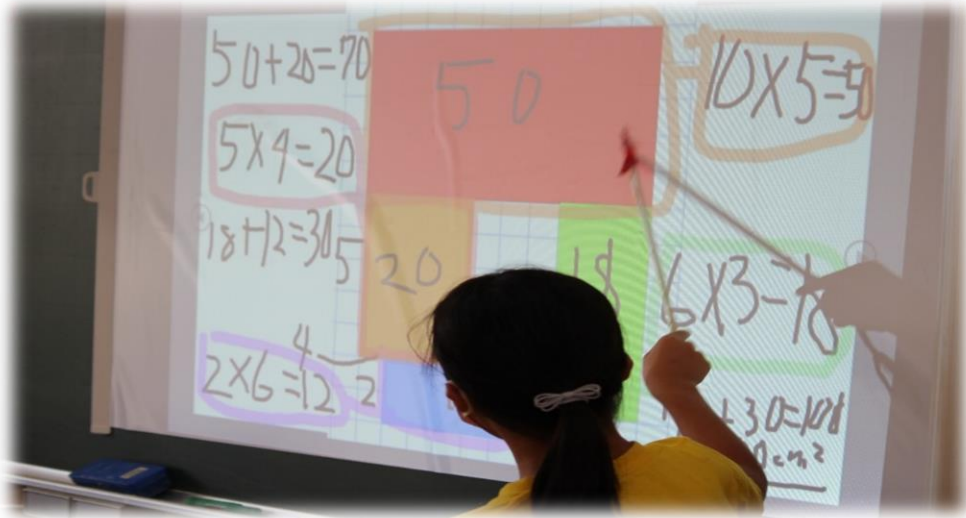
3 練習問題を解き、共有フォルダに提出する

- ◎ タブレット上で図形を動かしながら考えることで、自分の手元で視覚的に捉えることができる。
- ◎ 発表ノートに提出することで、その場で児童の進捗状況や理解度を把握でき、その後の指導に生かすことができる。

友達の考えを見て理解し、自分の考えを広げよう

小学校4年 算数科「切り取って移動させても面積が変わらないことを、図を動かして説明する」①

一辺10cmの正方形を長方形で敷きつめ、その長方形を動かしたとき、面積がどのように変化するか考えよう。



1 本時のめあてを確認し、予想する

2 一人で考える

- ・タブレット端末上のワークシートに考えを記入する。
- ・面積の計算ができたなら、提出BOXに送信する。
- ・提出された中から教師が主な考え方を分類する。

3 友達の考えを説明する

- ・主な考え方をプロジェクターで映す。それを使って、その子の考え方を他の子に説明させる。

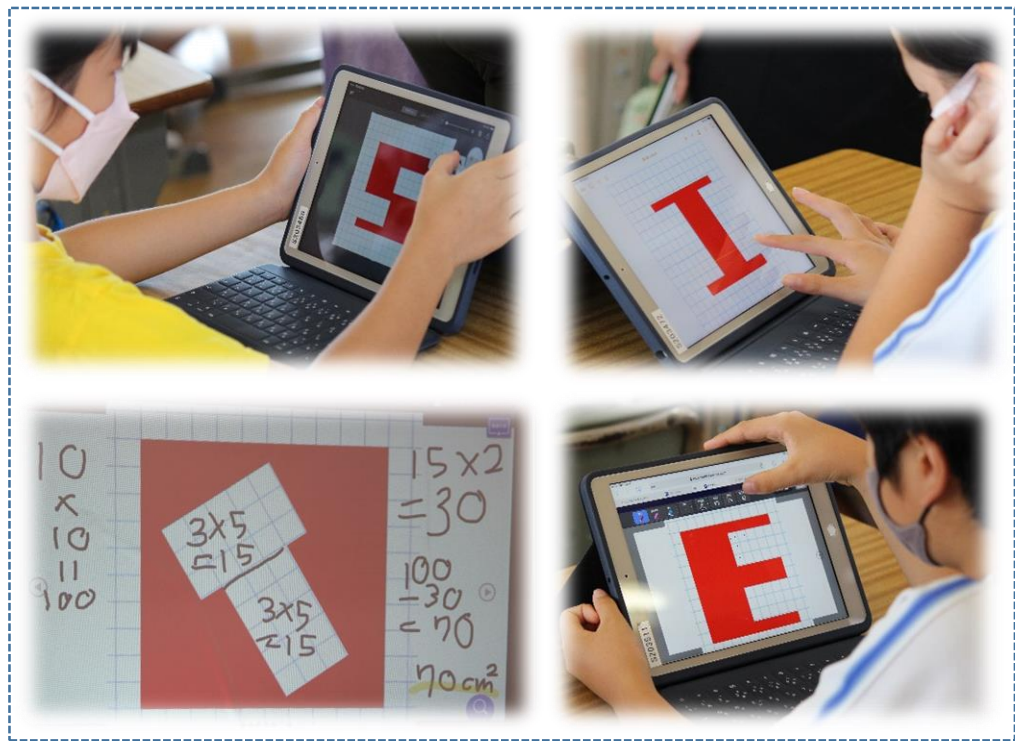
⇒ **自分の考えを友達の考えと比べながら聞いたり、考えたことを自分の言葉で表したいすることで理解を深める。**

4 発展問題に挑戦する

- ◎ プロジェクターで映し出すことで瞬時に考えを共有することができ、多様な考え方に触れられる。
- ◎ 他の子の考え方を理解し、自分の言葉で説明させると論理的な考え方を鍛えられる。
- ☆ 画面を映し、全体で代表児童の説明を聞くだけでなく、グループで説明し合う活動にも応用できる。

形を移動させて、できた面積を比べ合おう

小学校4年 算数科「切り取って移動させても面積が変わらないことを、図を動かして説明する」②



1 本時のめあてを確認し、予想する

- ・切り取った部分を移動させても面積が変わらないことを使って、同じ面積の模様を考える。

2 一人で考える

- ・できた模様をオクリンクで提出する。

3 友達の考えを解き、説明する

- ・プロジェクターでスクリーンに映し、友達の問題を解き、同じ面積になることを説明する。

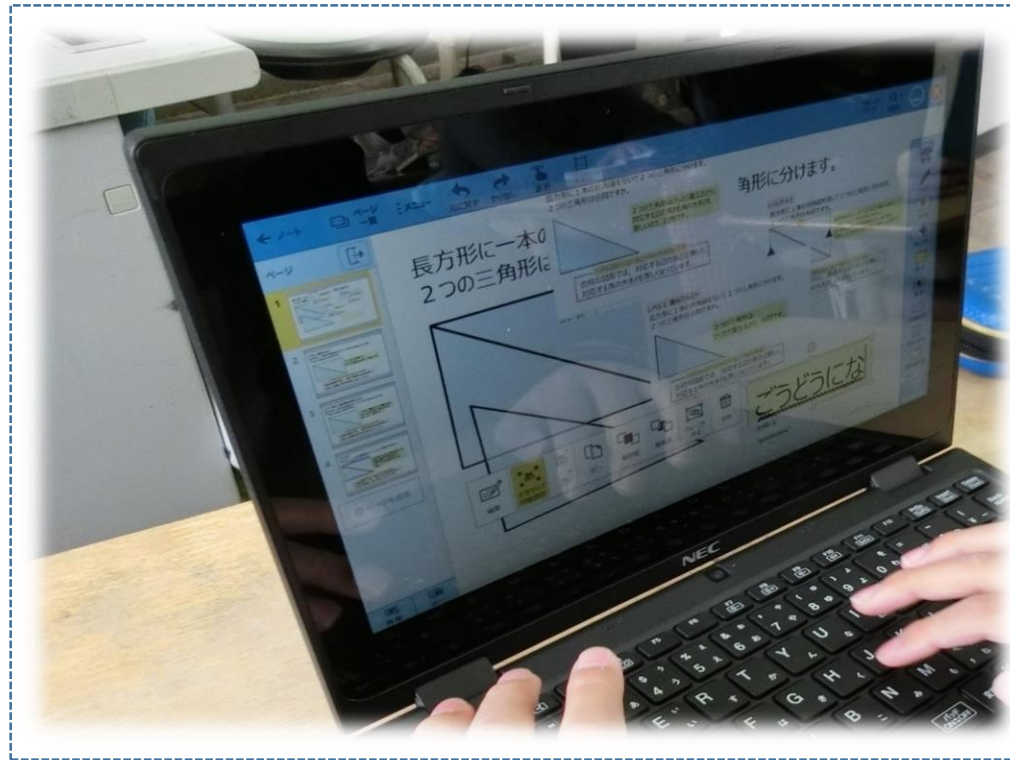
⇒ **自分の考えを友達の考えと比べながら聞いたり、考えたことを自分の言葉で表したいすることで理解を深める。**

4 練習問題を解く

- ◎ 切り取った部分を移動させて考えることができるので、多様な考え方を引き出せる。
- ◎ 考えの共有化、複数の考え方の比較がスムーズにできる。
- ☆ MediBang Paintを活用してシートを半透明にして重ねると、マス目を使って考える手助けになる。

図形を動かしたい重ねたいして調べてみよう

小学校5年 算数科 「合同な図形」



- 1 長方形、平行四辺形、台形を1つの対角線で切った三角形が合同であるかノート機能上の図形を操作して自分の考えをもつ

⇒

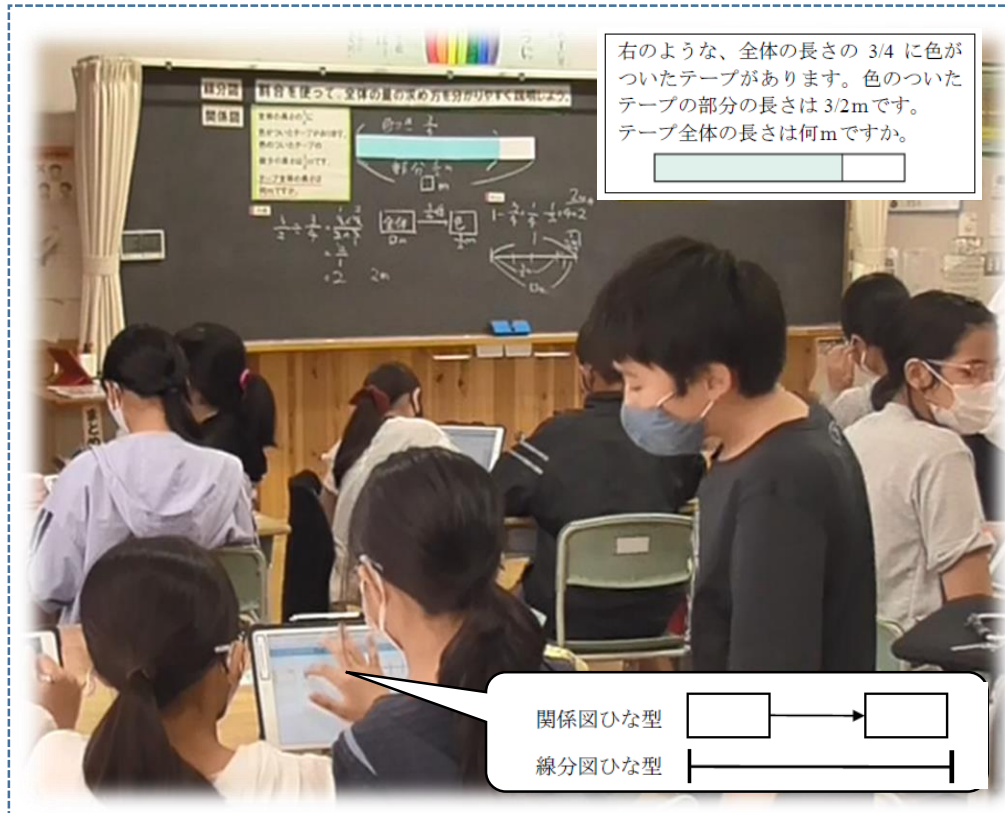
実際に図形を動かしたい重ねたいして視覚的に確認しながら取り組むことができる

- 2 グループワーク機能を使って話し合い、考えをまとめる
 - ・タブレット上の図形を動かしながら、グループの友達に自分の考えを説明する。
 - ・グループの意見を集約して、解法をまとめる。
 - ・クラス全体で考えを共有する。
- 3 練習問題を解き、共有フォルダに提出する

- ◎ 発表ノートの図形を実際に操作して重ねることで、簡単に合同な図形を見つけることができる。
- ◎ 発表ノートで提出させることで、その場で児童の進捗状況や理解度を把握でき、その後の指導に生かすことができる。

線分図や関係図のひな型を使って分かりやすく説明しよう

小学校6年 算数科「図や式を使って、2つの数量の割合を考えよう」



1 割合の問題を把握し、解決方法を考える

- ・問題を全員で共有し課題の解決方法を考える。

2 ひな型を用いて分かりやすい説明方法を考える

- ・タブレットに配付されたひな型となる線分図や関係図を用いて、分かりやすい説明を考える。

⇒ 「**線分図を使って考えました。……になります**」など、理由を明確にしなが、説明することができる。

3 学級全体で個々の考えを共有する

- ・大型モニターに児童の考えを提示し、それぞれの考えを比較しながら、関係図や線分図の良さを考える。

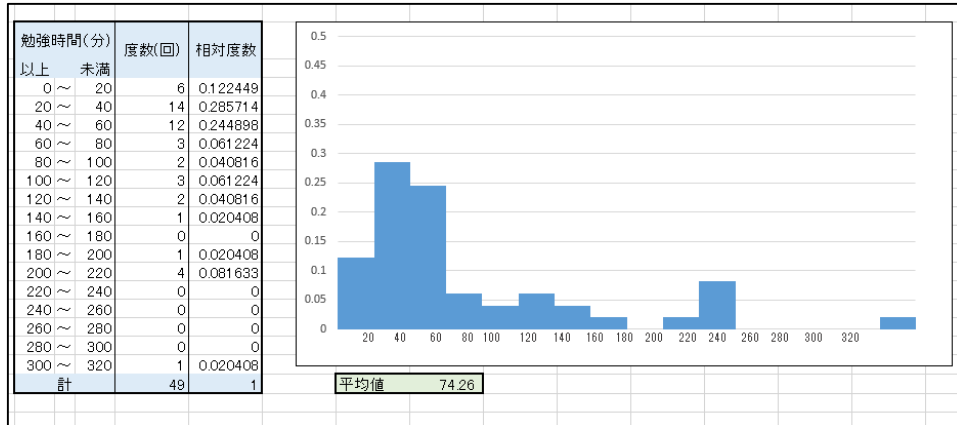
- ◎ 図を使って繰り返し考えることができるので、試行錯誤しながら考えることができる。
- ◎ 共通した図を使うので、自分の考えとの共通点や相違点を見つけ出しやすい。
- ☆ 学習の振り返りを蓄積できるので、自分の学びの変容を知ることができる。

標本調査の時間を短縮し、じっくりと分析しよう

中学校3年 数学科「標本調査のメリット・デメリットを考えよう」

No	勉強時間(分)	標本の大きさ	50
1	50		
2	40		
3	30		
4	20		
5	35		
6	45		
7	50		
8	20		
9	35		

入力完了



1 紙のアンケートで調査する

- ・アンケート調査を行って、アンケート用紙をスキャンしてどの班もアンケート結果を見ることができるようにする。

2 タブレット端末を使って標本調査を行う

- ・サンプル数を班で決めて、ランダムに抽出された番号のアンケート結果をタブレット端末に入力していく。

3 何度も標本調査を行い、その結果を分析する

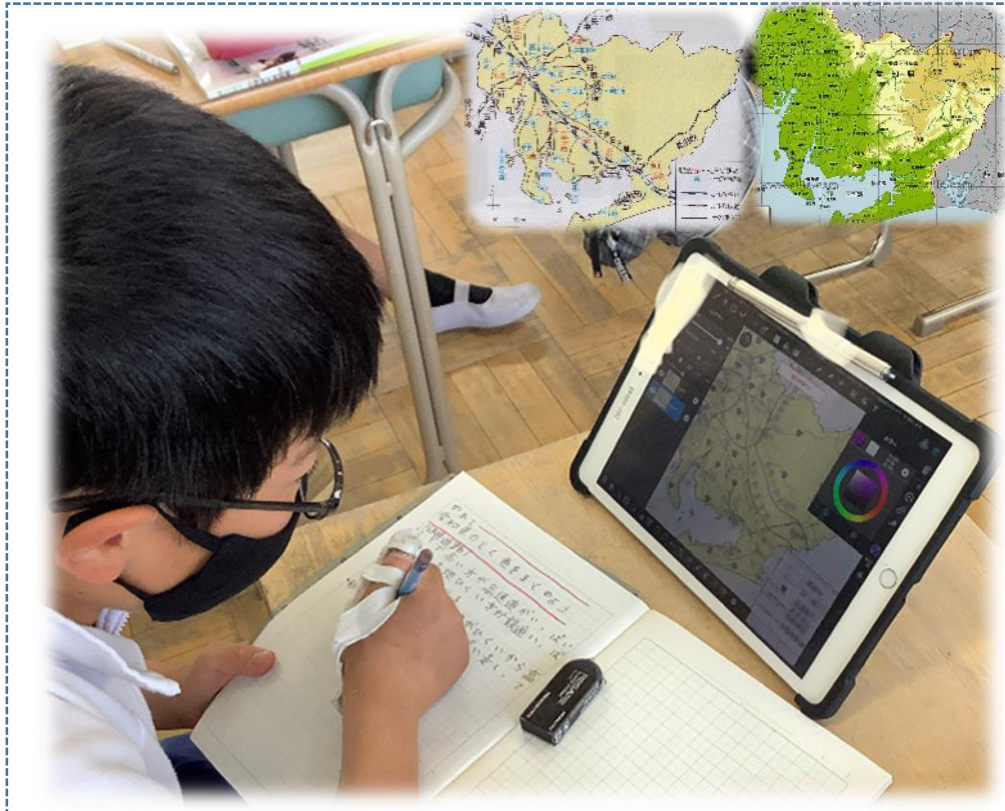
- ・様々なサンプル数で標本調査を行い、その結果（代表値・ヒストグラムなど）を比べて、標本調査のメリットやデメリットについて考える。

⇒ **サンプル数を多くすれば、結果が偏る確率が少なくなるなど、全数調査のメリットやデメリットを考えることができる。**

- ◎ アンケート用紙をスキャンすることで、同時に複数の班で取り組むことができる。
- ◎ タブレット端末を使って、標本調査を効率的に行い、結果の分析に時間をかけることができる。
- ◎ 他のグループとタブレット端末を見せ合い、結果を比べることで、協働的に学習をすすめられる。

「地形」や「鉄道や道路」などの画像資料を重ねて見よう

小学校4年 社会科「複数の資料を重ね合わせ、愛知県の特徴についての学びを深める」



1 画像資料を見て、愛知県の特徴をノートにまとめる
・「地形」「鉄道や道路」「人口」「産業」など、愛知県の地図資料を1つずつ見て、「南や西は土地が低く、北東は土地が高い。」など、特徴をノートにまとめる。

2 画像資料を重ねて見て、自分の考えをもつ

・2つの画像資料を重ね合わせることで、愛知県の特徴についての気づきや考えを深める。

⇒ 「土地が低いところに鉄道が走り、道路が多く交差している。だから人口が多い。」など、深く読み取ることができる。

3 愛知県の特徴について、学級全体で話し合う

・互いに、重ねた画像を見せ合ったり、意見を聞き合ったりして、自分の考えをさらに深める。

- ◎ 画像資料を半透明化させて重ね合わせることができるので、横に並べて見比べるよりも分かりやすい。
- ◎ 重ね合わせた画像に書き込みをして保存できるので、気づきや学びをどんどん蓄積できる。
- ☆ 航空写真を重ねて年代ごとの町の変化、グラフを重ねて天候による気温の変化、などに活用できる。

学びをシートに記録して、学びを深めよう

小学校6年 社会科「単元を通して共通課題について考える歴史の学習」



- 1 単元を通して探究する本質的な共通課題「なぜ戦争は繰り返されるのだろう」を歴史単元の導入として提示する〈例〉①縄文・弥生②源平・承久の乱③元寇④戦国・朝鮮出兵⑤日清・日露戦争⑥太平洋戦争など
- 2 学びを「探究シート」に記録し、蓄積していく

- ・めあてに対して振り返りを記述し、蓄積していく。
- ⇒「弥生時代の遺跡を調べたら、米作りと戦争は関係があることが分かった。」など、共通課題に対して個としての学びを深めることができる。
- ・学習課題に対してまとめを記述し、蓄積していく。
- ⇒「米作りの始まりにより、指導者を中心として人々は協力しながら生活するようになった。」など、学習課題に対して集団としての学びを深めることができる。

- ◎ 個人の学びを「探究シート」に記録・蓄積していくことで、前の単元に戻ったり、複数の単元を比較したりするなど、学びの連続性をもたせることができる。
- ◎ 自分の学びを累積し単元を通した課題を探究していくことで、深い学びへとつなげていくことができる。

調べた国の魅力が伝わるプレゼンテーション資料を作成しよう

中学校1年 社会科「外国を調べて特色をまとめよう」



1 テーマと外国を決め、特色を調べる

- ・「食べ物」「スポーツ」「観光地」など、テーマを決めて、インターネットを使い詳しく調べる。

2 調べたことを用いて、プレゼンテーション資料を作る

- ・紹介する相手に分かりやすい資料となるように、またどのように紹介すると魅力が伝わるか考えて作る。

⇒ **より魅力的なプレゼンテーション資料となるよう内容や構成を工夫することで、表現する力を伸ばすことができる。**

3 グループで中間発表をする

- ・仲間のプレゼンテーションを聞いて分かりやすい資料や紹介の仕方を学ぶ。

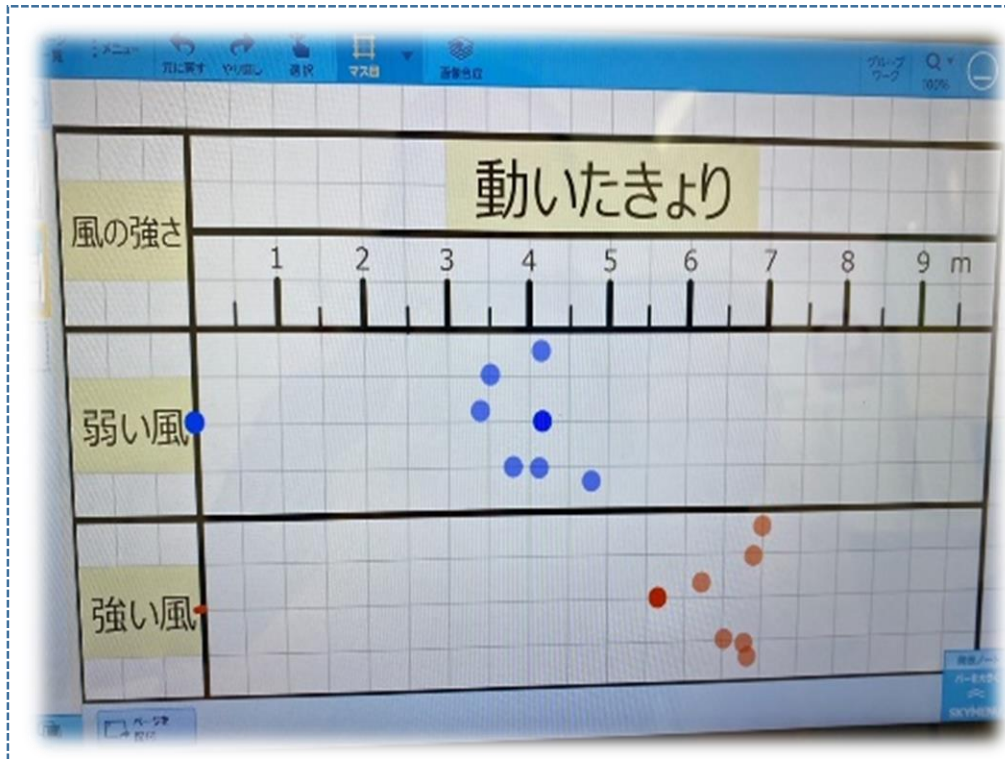
◎ 発表時には、必要などころをズームしたり、ページを変えたりできる。

◎ 改善前後の資料を比較することで、生徒の変容を把握できる。

☆ 様々な教科や単元で、子供が伝えたい内容や目的に応じたまとめ資料を作る際に活用できる。

実験結果を可視化してみんなで共有しよう

小学校3年 理科 「風の力のはたらきの実験の結果をもとに考察しよう」



1 学級全体の実験の結果を確認し、個々でまとめる

2 各自の実験結果を持ち寄り、班のまとめを作る

⇒ **各班の実験結果を点で表し、タブレット上でまとめたものを見ることで、各自の結果から全体の結果へと視野を広げる。**

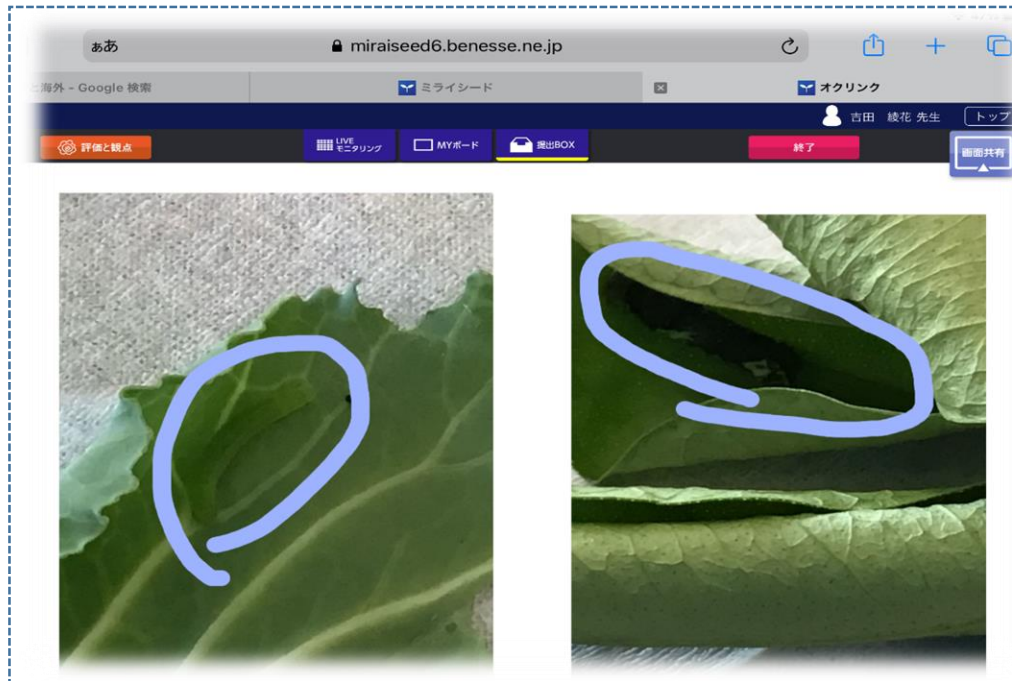
- ・友達と話し合い、班の考えをまとめる。
- ・班のまとめをタブレット上で作成することで、各自のタブレットで実験結果をもとに対話を促進したり、発表をやすくしたりする。

3 各班のまとめを学級全体で共有し、「風の強さと、車が動く距離」の言葉を使ったまとめをする

- ◎ 効率よく実験結果を1つに集約し、まとめることができるので考察しやすくなる。
- ◎ 班としての実験結果を1つの画面にまとめることで、必然的に対話が生まれる。
- ◎ 班ごとの実験結果を並べて比較することもできる。

拡大機能を活用し、じっくりよく見て、気付いたことを伝え合おう

小学校3年 理科「チョウは、たまごからどのように育つか観察しよう」



1 観察をして見つけたことを紹介し合う

- ・チョウのたまごがどのように変化しているか予想する。
- ・写真や動画を撮りながら、じっくりと観察をする。
- ・観察カードにメモをする。
- ・見つけたことを、グループで紹介し合う。

⇒ **動画を共有して見合うこともでき、写真を拡大したり、動画を止めて見せたいすることで、細かい様子も分かりやすく伝えられる。**

2 全体で見つけたこと、気になったことを伝え合う

- ・分かったことをまとめ、気になったことをもう一度観察し、確認する。

◎ 葉を食べる様子や、糞をする様子など、目で見るだけでは見逃しがちな瞬間をとらえることができ、後で繰り返し見返すこともでき、じっくりと観察することができる。

◎ 友達と動画や写真を共有して見合うことができ、気付きを蓄積できる。

☆ においや手触りなど、五感を生かした観察も大切にしたい。写真や動画で記録することと合わせて手書きの観察カードと併用すると効果的である。

肉眼で捉えにくい現象を動画で記録しよう

小学校3年 理科「音が出た時の振動を理解しよう」



1 振動についての実験を行う

- ・ドラムの上にカラーボールを乗せて様々な強さで叩き振動する様子を撮影する。

2 動画を見直し、音の振動について考える

- ・撮影した動画をスローにしたり、アップにしたりするなどして何度も見直す。

⇒ **何度も動画を確認することで、音の大きさによりボールの振動が変化している様子を理解することができる。**

3 自分の考えをまとめる

- ・振動について自分の考えをまとめ、全体の場で発表する。

◎ スロー再生することで、一度見ただけでは分からないことも、把握できるようになる。

◎ 動画を2つ並べて比較することで、現象の違いを理解しやすくなる。

☆ 動画比較は、他の授業や単元でも活用できる。

ツルレイシの成長や変化の様子を記録しよう

小学校4年 理科「五感を使って観察しながら、写真を撮って補助的に記録をする」



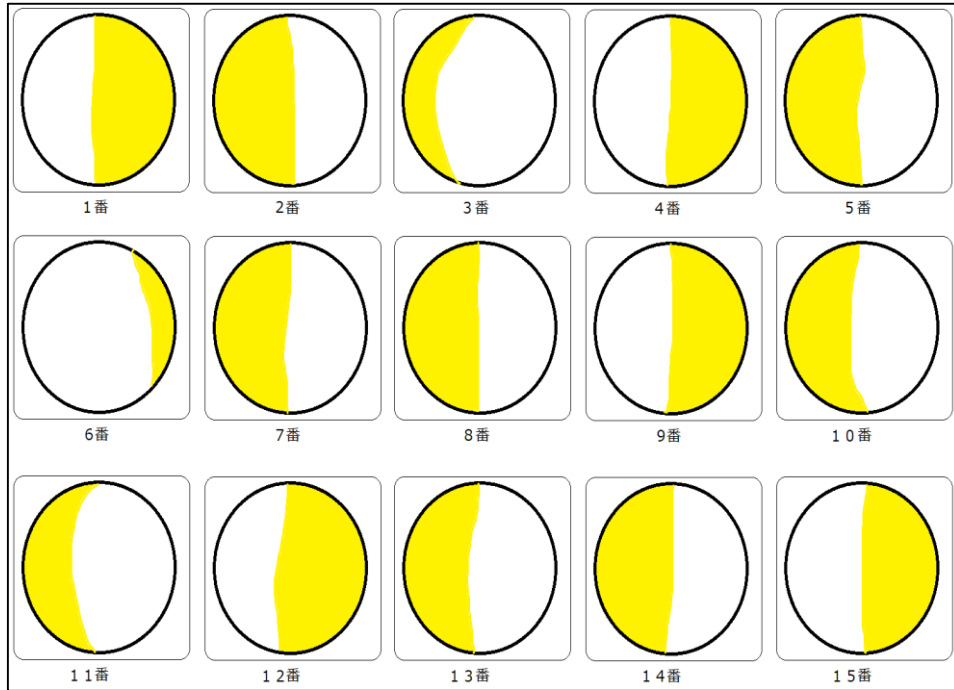
- 1 五感を使ってツルレイシを観察し、気付いたこと、成長や変化の様子をノートに記述する
 - 2 タブレット端末で撮影し、その画像にも気付いたこと、成長や変化の様子を書き込み、保存する
 - ・全体像だけでなく葉やつる、花、実などの部分的なところの画像も記録、保存する。
- ⇒ **においや手ざわりなど、見た目では分からないことは画像にも書き込んで保存しておく。**
- 3 定期的に、観察、撮影、保存した画像を比較し、成長や変化についての自分なりの考えを深める
 - ・班や学級で画像を見せながら伝え合ったり、過去の画像と見比べたりすることで、学びをさらに深める。

◎ 端末活用はあくまでも補助とし、観察する際は、自分の五感を使って直接感じとることを大切にする。

☆ 動植物や作物など、季節の移り変わりで変化していくようなものを同様に補助的に記録、比較して、学びに向かう力を高めることができる。家庭で画像を見せることにより、保護者の興味関心も高まる。

友達の考えを用いて、自分の考えを見つめ直そう

小学校6年 理科「月の見え方を予想しよう」



1 月の見え方を予想して、自分の考えをタブレット端末に書き込む

- ・ある月と太陽の位置関係のときの月の見え方を予想し、その考えをタブレット端末に書き込む。

2 全員の考えを映して共有し、月の見え方を話し合う

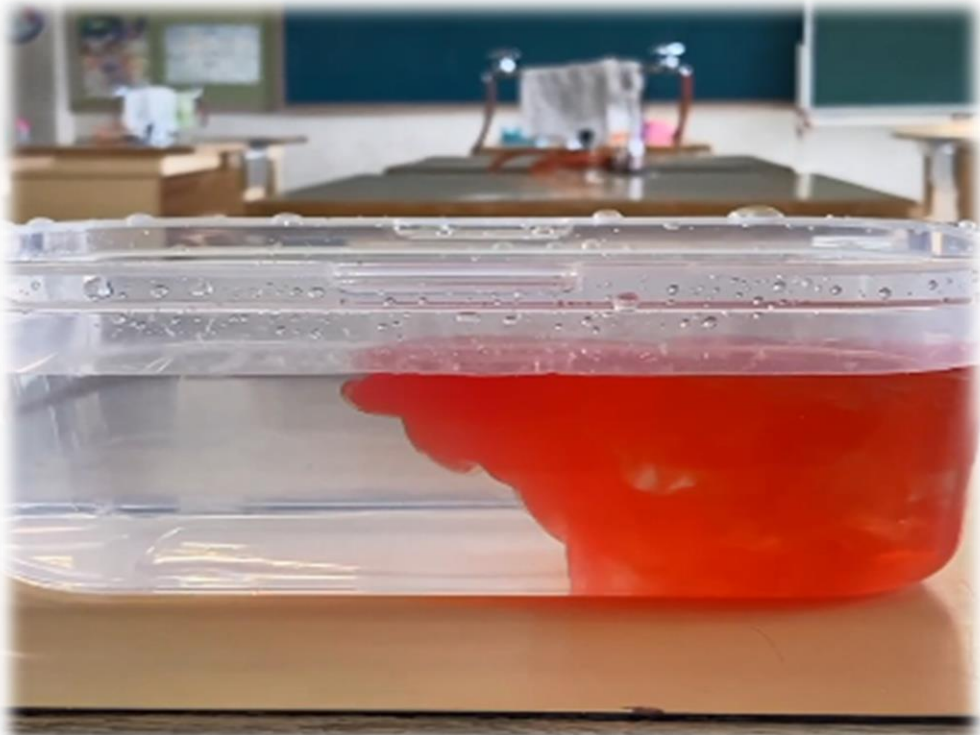
- ・提出された一人一人の考えを、大型テレビなどに映して、グルーピングしながら比較する。
- ・予想した根拠を話し合っていく中で、実際の月の見え方を考えていく。

⇒ **月と太陽の位置から太陽の光の当たり方を考えることで、月の見え方を予想することができる。**

- ◎ 全員の考えを一覧で見ることができ、どの子も学習に参加することができる。
- ◎ 一人一人の考えをグルーピングして比較していくことで、考えの違いに気付くことができる。

何度も繰り返すことが困難な実験を動画で記録をしよう

中学校2年 理科「前線面ができる様子を理解しよう」



1 前線についての実験を行う

- ・実験を行い、その様子を動画で撮影する。

2 実験結果から、前線について考える

- ・撮影した動画をスローにするなどして何度も見直し、グループで相談しながら、前線について考える。

⇒ **何度も動画を確認することで、前線の様子に対する理解を深めることができる。**

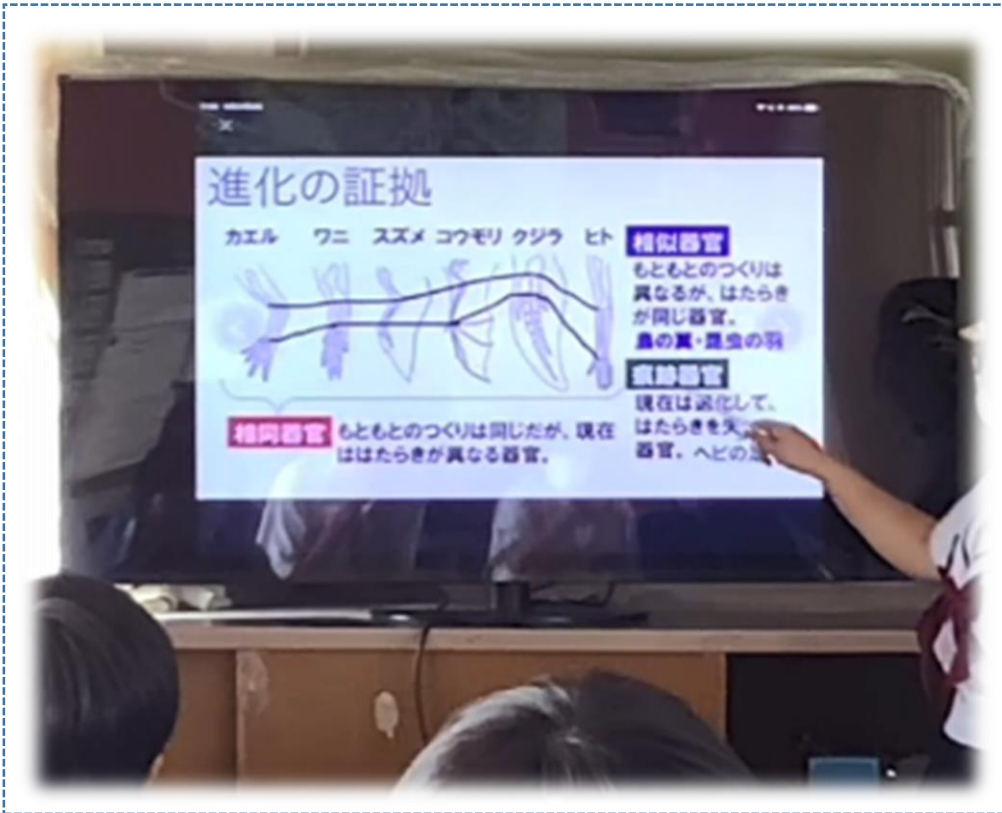
3 自分の考えをまとめる

- ・前線について自分の考えをまとめ、全体の場で発表する。

- ◎ 一度しかできない実験を何度も見直すことで、理解を深めることができる。
- ◎ スロー再生することで、一度見ただけでは分からないことも、把握できるようになる。
- ☆ 実験の撮影やスロー再生は、他の単元の実験でも活用できる。

調べて作ったまとめをプレゼンテーションしよう

中学校3年 理科「調べたことをまとめて発表しよう」



1 探究したいことを調べる

- ・インターネットを使用し、単元の中でもっと知りたいと思ったことを調べる。

2 プレゼンテーション資料を作って発表する

- ・調べたことを使ってプレゼンテーション資料を作る。
その後、全体で発表する。

⇒ **文字や写真、話す言葉を工夫することで、表現する力を伸ばすことができる。**

- ◎ 大型モニターを使用することで、伝わりやすくなる。
- ◎ データを残すことで、子供の考えを把握しやすくなる。
- ☆ データを残せば、他教科や他の単元でまとめを作成するとき、参考にすることができる。

自分のあさがおを撮影し、じっくり観察をしよう

小学校1年 生活科 「あさがおカードをまとめよう」



1 タブレットを使って写真を撮影する

- ・さまざまな角度から撮影する。
- ・全体を捉えたり、部分的に注目したりして撮影する。

2 さまざまな角度から撮影した写真を見て、気付いたことをカードに記録する

- ・形や大きさや色、さわった感じに注目してまとめる。
- ⇒ **拡大してじっくりあさがおの様子を観察することを通して、特徴や変化に気付くことができる。**

3 カードに記録したことを話し合う

- ・発表の際は、スクリーンに画像を投影する。
- ・あさがおの成長の喜びを全体で共有する。

- ◎ 絵や字をかくことが苦手でも、直接画像に書き込むことで簡単に観察日記をまとめることができる。
- ◎ 画像を拡大することで、葉脈やがくなど細部の気付きを全体で共有しながら確認することができる。
- ◎ 前時までの記録写真と比較し、あさがおの生長の過程や変化を容易に確認することができる。

写真を見せ、通学路で見つけてきたものを紹介し合おう

小学校1年 生活科「自分の通学路を写真で紹介し合おう」



1 家庭学習で写真を撮影する

- ・通学路を歩き、紹介したいものをタブレット端末の写真機能を使って撮る。（保護者に協力してもらう）
- ・撮影した写真をオクリンクの提出BOXに送る。
- ・教師が、写真を繋げ、スライドショーを作る。

2 通学路で見つけたものを紹介し合う

- ・写真を見せながら、見つけたものを紹介し合う。
- ⇒ **言葉だけではうまく表現ができないこともある。写真を拡大したり、ポイントを示したいすることで、分かりやすく伝えられる。**

3 友達の見つけたものと比べて感想を伝え合う

- ・自分の場所と比べて、似ていることや違うことを話す。

- ◎ 写真を見合うので、行ったことのない場所でも様子が分かり、興味をもって聞くことができる。
- ◎ 写真撮影に家庭の協力を得ることができ、家庭でも通学路について話題にすることができる。
- ☆ 友達の発表で気になったことをもとにもう一度調査（撮影）をすると、さらに追究活動に発展できる。

友達と一緒に、しゃぼん玉撮影会をしよう

特別支援学級 生活単元学習 「しゃぼん玉写真展を開こう」



1 シャボン玉を飛ばす様子をお互いに撮影し、記録に残す

- ・しゃぼん玉を飛ばす役と撮影する役に分かれる。
- ⇒ **しゃぼん玉を飛ばす役と撮影する役を分担するので、必然的に関わりコミュニケーションが生まれる。**

- ・撮影した写真を友達と確認する。

2 活動を振り返る

- ・写真をもとに活動を振り返り、ワークシートに感想を書いたり楽しかったことを伝え合ったりする。

◎ 友達と共有した体験をカメラ機能を用いて画像として記録に残すことで、いつでも振り返りに活用できる。

◎ 目的を共有した友達と役割分担して取り組むことで、コミュニケーションを深めながら活動できる。

自分の演奏を(録音機能を利用して)聴き、よいよい演奏にしよう

小学校5年 音楽科「小さな約束」音の重なりを感じ取ろう

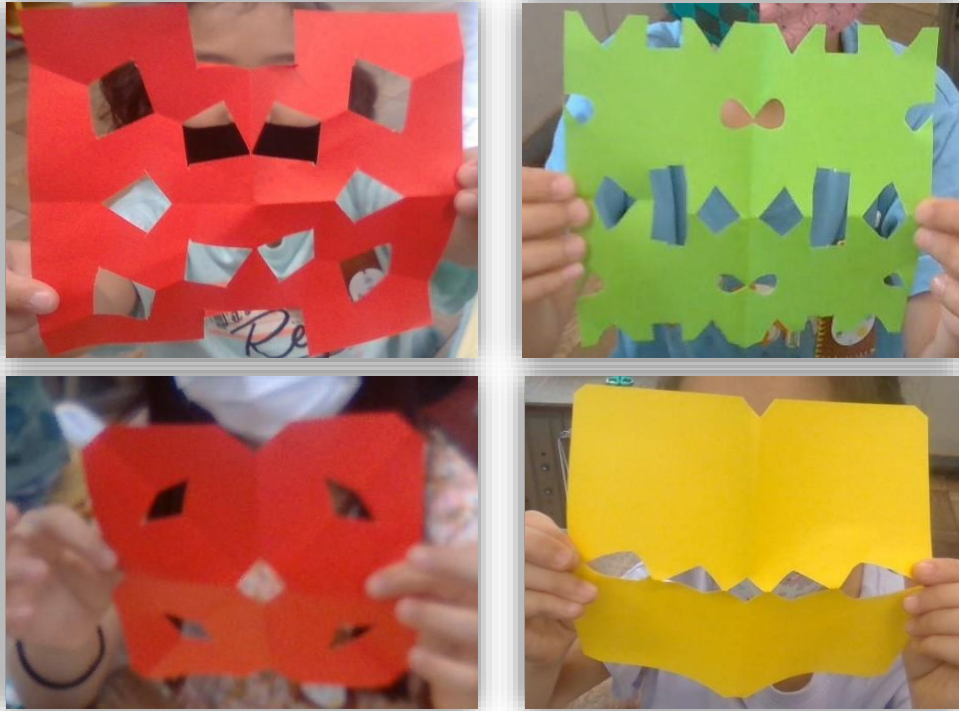


- 1 学習曲「小さな約束」を聴く
 - ・鑑賞した感想を出し合う。学習のめあてを知る。
- 2 ガレージバンドの操作手順を確認する
- 3 イ短調のキーを学習する
 - ・イ短調の音階を確認する。
- 4 ガレージバンドのキーボードを使って、イ短調の音階を弾き、ハ長調と弾き比べ、違いを話し合う
- 5 学習曲の練習をして演奏を録画し、見直すことで修正点や改善点について話し合う
 - ⇒ **手元で動画を繰り返し見ることができるので、修正点や改善点に気づきやすく、修正前と比べることもできる。**
- 6 学習を振り返る

- ◎ 動画に撮ることで客観的に見たり、聴いたりすることができ、改善点を見つけやすい。
- ◎ 改善前と改善後を比較することができ、それをみんなで見合うことで、全体に広めることもできる。
- ☆ 音楽科だけでなく、音読や総合的な学習の発表でも録画機能を活用して改善することができる。

スライドショーで友達の作品をどんどん鑑賞しよう

小学校1年 図画工作科 「教室をすてきにかざろう」



1 タブレットを使って自分の作品を撮影する

- ・画面いっぱいのできさで作品を撮影する。
- ・画像を共有フォルダーに提出する。

2 スクリーンに投影された作品を、スライドショーで鑑賞する

- ・自分の席を離れずに、次々と友達の作品を鑑賞する。
- ・友達の作品の良いところを伝え合う。

⇒ **全員の作品を効率よく鑑賞することができ、制作の可能性や楽しさを感じ取ることができる。**

3 鑑賞したことを生かして制作する

- ・友達の作品の良さを取り入れて、活動を広げたり深めたりする。

◎ スライドショーなので、友達の作品の良さを自分の活動に合わせて自由なタイミングで離席をせずに鑑賞することができる。

◎ 画面いっぱいに作品を拡大してスクリーンに投影できるので、細部まで鑑賞できる。

撮影した画像にマーキングして、作りたい作品をイメージしよう

小学校4年 図画工作科「想像を広げて表現しよう」



1 お気に入りの石を撮影する

- ・お気に入りの石を選び、さまざまな角度から撮影し、どの画像を使用するか考える。

2 画像にマーキングする

- ・カメラの編集機能を使用し、選んだ画像の上からマーキングを行う。

⇒ **考えたアイデアを可視化することで、よいよい作品にするためイメージを高めることができる。**

3 実際の石に描く

- ・画像の上からマーキングしたイメージを参考に、作品を制作する。

◎ マーキングした画像を保存することで、アイデアを何度でも見直すことができる。

☆ タブレット端末上で試しに何度も描くことで、実際には実物に一度しか描けない活動をする場面に活用できる。

撮影した画像を見ながら、陰影を意識して描写しよう

中学校1年 美術科「対象を細部まで描写しよう」



1 描きたいポーズで写真を撮影する

- ・自分の手の関節、しわ、つめなどの様子を観察したあと、ポーズを決めて撮影する。

2 画像を見ながら描写する

- ・実際の自分の手も見ながら、立体的なものを平面に表現する。

⇒ **カメラの編集機能を使いグレースケールにすることで、手の陰影にも気づき、より詳細な描写をすることができる。**

◎ 撮影することでポーズが固定され描きやすくなるため、さまざまなポーズでいろいろな角度から手を描く楽しさを感じることができる。

☆ グレースケールなど、カメラの編集機能を使えば、さまざまな描写の場面に活用できる。

プログラミングを活用し自分のイメージに合った作品を作ろう

中学校2年 美術科「プログラミングを活用し、空間を創ろう」



1 テーマを決め、動く模様を制作する

- ・形や色を変えたり、動きを調整したりして、動く模様を制作する。

2 動く模様を投影し、形、色、動きを相談する

- ・イメージを広げるため、投影した大きな画面で作品を見ながら相談する。

⇒ **大きな画面を見ながら相談することで、イメージを広げてよりよい作品にしようとすることができる。**

3 イメージに合う模様になるよう、何度も作り変える

- ・相談した内容を生かして、模様を作り変える。

- ◎ 試行錯誤しながら、何度もやり直すことができる。
- ◎ 投影して相談することで、発想を共有することができる。
- ☆ プログラミングを学習する際にも活用できる。

感じたことを言葉や色彩、画像を使用してまとめよう

中学校2年 美術科 「自分が感じる美を表現する」



シャボン玉が
割れる瞬間



私が見つけた「美」は、シャボン玉が割れる瞬間です。シャボン玉が空に浮かんでいる時間はほんの一瞬で、人が触れたり風が吹いただけで割れてしまう儂いものだから一つ一つが我が子のように大事に思えてくるところや、指で割るとシャボン玉が小さい粒になり弾けて地面に落ちていく様子が一瞬ははずなのにスローモーションに見える部分が綺麗だと思ったから。

1 自分が感じる美を探す

- ・タブレット端末を使用し、ネットからイメージ画像や世の中の美しいものを探す。

2 美しいと感じた理由を明確にし、ロイロノートを使用し、美を1枚のカードにまとめる

- ・タブレット端末のロイロノートを使って、美を見つけたときに感じたことなどを言葉や色彩、画像を使用してまとめる。

⇒ **言葉や色彩、画像を使用して自分が感じたことを表現することができる。**

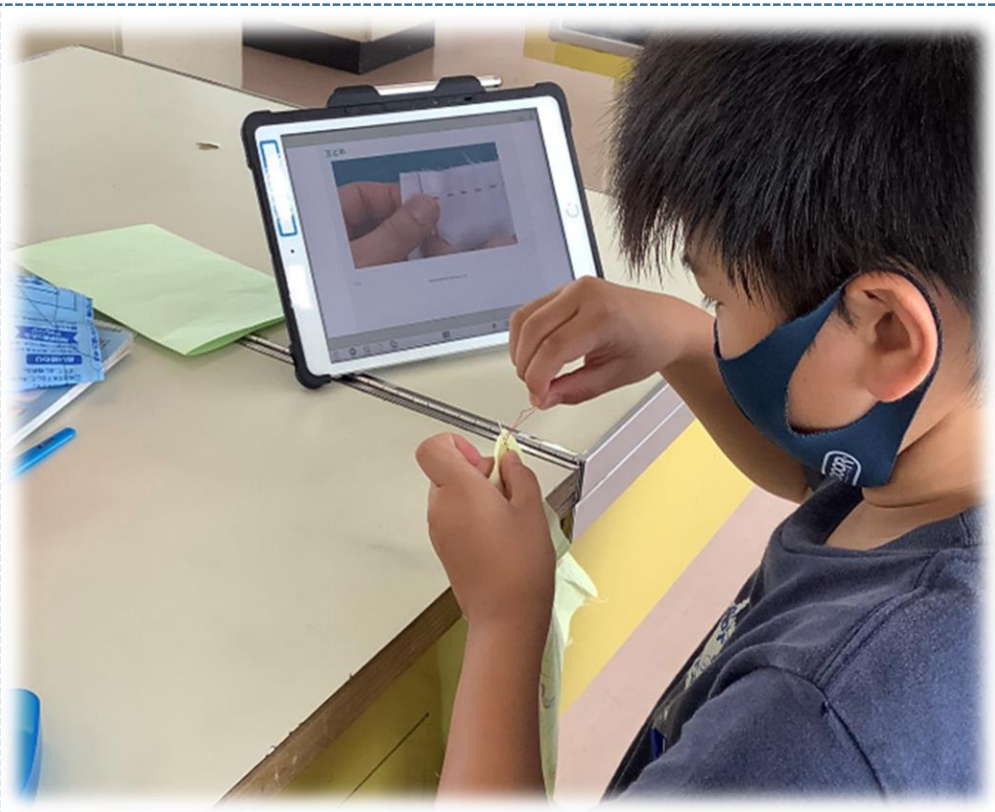
3 仲間が見つけた美を鑑賞する

- ・制作した作品をクラス全体で共有し、タブレット端末を使って鑑賞する。

- ◎ 普段であれば制作が始まると手が止まる生徒も、意欲的に自分の考えを表現することができる。
- ◎ 制作に困った際には、教師の作例や仲間の制作途中の作品を自由に見て、生徒自身がイメージを膨らませ、自分で疑問を解決し、取り組むことができる。

動画を見ながら、自分のペースで手縫いの練習をしよう

小学校5年 家庭科「動画で縫い方を確認しながら、手縫いのいろいろな縫い方を身に付ける」



1 一斉で、手縫いのいろいろな縫い方を知り、個別で練習する

2 デジタル教科書、または教科書のQRコードを読み取り、身に付けたい縫い方の動画を見直ししながら、手縫いの練習をしたり、修正点を見つけたりする

・一斉での説明だけでは理解が難しい場合に、自分の端末で動画を見て縫い方を確かめる。

⇒ **場合によっては、前時までに習った玉結びや玉留めのやり方も、もう一度動画で確認してから練習に取り組む。**

3 完成動画と自分の作品を見比べて、修正・改善する

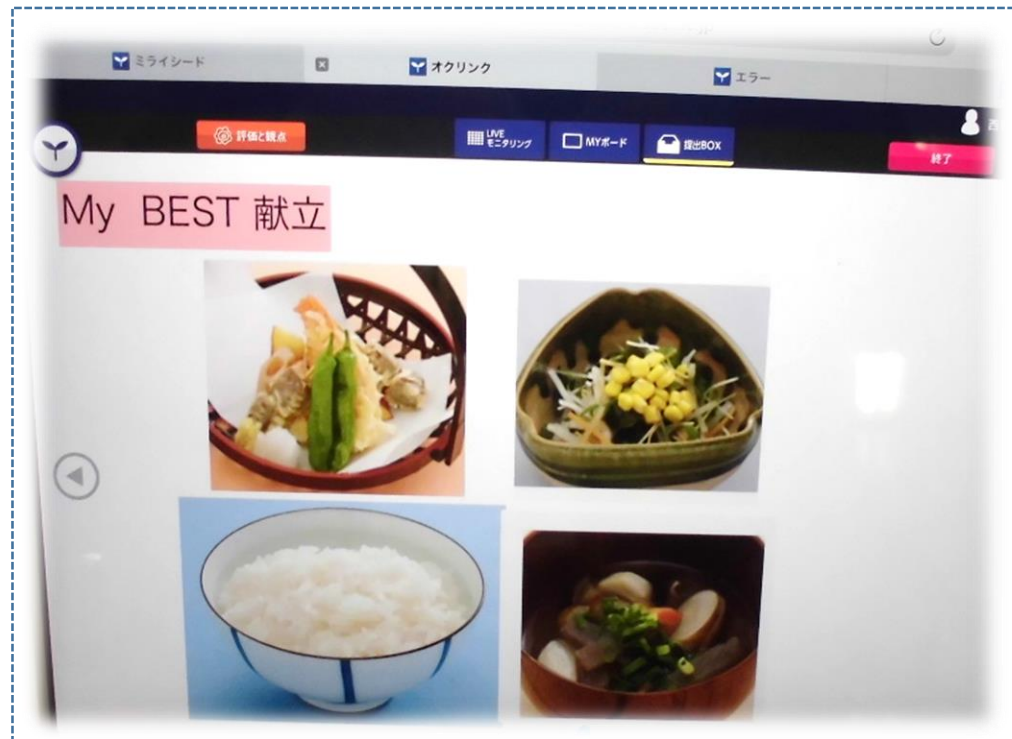
・休み時間や家庭学習でも、自分に取り組みたい時に動画を確認しながら手縫いの練習をすることができる。

◎ 1人1台の端末で、動画を止めたり繰り返したりして何度も見返し、自分が身に付けたい縫い方を自分のペースで練習することで、学び方を学ぶことができる。

☆ 他教科でも同様にデジタルコンテンツや動画などを活用して、学びに向かう力を高めることができる。

友達のワークシートを見て、よいよい献立を考えよう

小学校6年 家庭科「まかせてね 今日の食事」1食分の献立を考えよう



1 献立を考える上で気をつけることを確認する

- ・ 献立作成時に大切にしたいことの観点を確認する。
(献立は、前時にe食材辞典の食材カードなどから食材を選び、写真を貼ってカードを作成している)

2 グループで献立を見合い、アドバイスをする

- ・ 提出BOXの中から、班の子の献立を選んで見る。
- ・ アドバイスを付箋に書き、伝える。

⇒ **写真を貼り付けているので、彩がよく分かる。自分の手元で友達のワークシートが見られ、4人で同時に作業ができる。**

3 自分の献立を見直し、「My best 献立」を仕上げる

4 全体で、できた「My best 献立」を紹介し合う

- ◎ 写真を貼り付けているので、手書きの献立カードと比べ、改善点を生かした変更が容易である。
- ◎ 改善前と改善後と比較することができ、それをみんなで見合うことで、全体に広めることもできる。
- ☆ 後日、家庭学習と組み合わせて、実際に作った食事を写真に撮って見合う活動にも活用できる。

自分のフォームを動画で確認しよう

小学校6年 体育科 「器械運動（跳び箱運動）」



1 台上前転を撮影する

- ・着手や着地などのポイントを確認しながら視聴する。
- ・追っかけ再生（5秒遅れの再生機能）を活用し、自分のフォームを確認して次の練習に生かす。

2 お互いのフォームを確認し、アドバイスをし合う

⇒ **フォームを動画撮影することで、グループで具体的なアドバイスをしたい根拠をもって話し合いたいすることができる。**

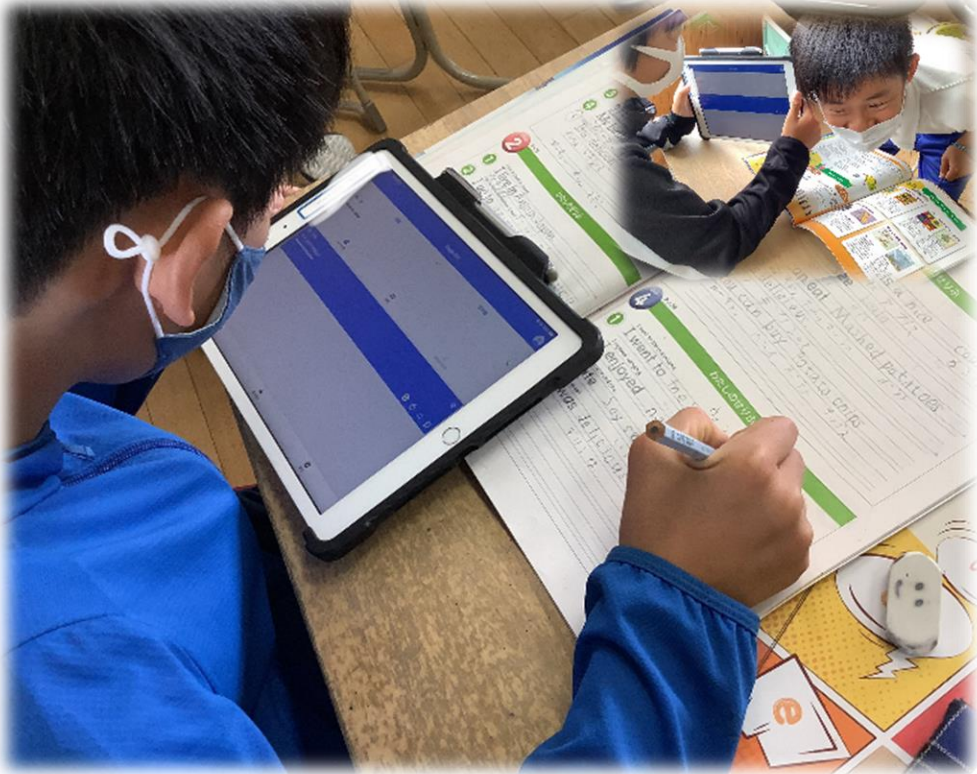
- ・自分や友達フォームを動画で確認して、良い点と改善点を明確にしながらかし合う。

◎ 自分のフォームを客観的、視覚的に捉えることができるため、自分のイメージと実際の動きを比較することができる。

◎ 追っかけ再生機能により、自分の動きをすぐに確認でき、次の練習に生かすことができる。

知りたい英単語をグーグル翻訳で調べよう

全学年 外国語科・外国語活動「調べた英単語のつづりや発音を活用する」



- 1 一斉授業での英語の教師やALTとの英会話の中で、本時に身に付ける会話や単語のことを知る
 - 2 覚えきれなかった単語やさらに知りたい単語について、グーグル翻訳を使って日本語から英語に翻訳する
 - ・分からないことや困ったことをそのままにせず、教師や友達に聞いたり、グーグル翻訳で確かめたりして、自分なりに学びを深める。
- ⇒ **朝の帯時間や休み時間などの隙間時間を使って、こまめに学習を積み重ねることもできる**
- 3 翻訳した英単語について、スペルをノートに書いたり、発音を聞いて練習したりする
 - ・外国にルーツをもつ友達との会話の助けにもなる。

◎ 知りたい時に自分が必要だと思うことがらについて自分のペースでいつでも調べることができるので、より最適な学びを蓄積することができる。

☆ 英語に限らず、他の言語についても同様に調べることで、コミュニケーションの手段を増やせる。

みんなで意思表示をして価値を追究しよう

小学校3年 特別の教科 道徳 「かくさずに正直に」



- 1 もし自分が窓ガラスを割ってしまったら「謝る」か「そのままにするか」のどちらに気持ちが傾いているか、ポジショニング機能を使って意思表示をする
 - ・自分の考えを共有フォルダーに提出する。
 - ・友達のことを知る。⇒ **全員が課題について意思表示することで、授業への参加意識が高まり、主体的に価値について考えることができる。**
- 2 教材の主人公の行動をもとに話し合い、さまざまな価値にふれる
- 3 再度、ポジショニング機能を使って自分の考えを共有フォルダに提出し、考えの深まりを確認する

- ◎ アンケート機能で効率的に児童全員の考えを把握することができ、授業展開に活用できる。
- ◎ 授業の振り返りの際に、初発の自分の考えからの変容や、価値の気づきについてなど成長を認識することができる。

画像や資料を分かりやすくまとめて、プレゼンテーションしよう

小学校3年 総合的な学習「都道府県の魅力をプレゼンテーションにまとめる」



1 自分が興味をもった都道府県について調べる

- ・本や雑誌、インターネット、家族へのインタビュー、訪問した記憶などをもとに調べていく。

2 画像や資料を取り入れ、都道府県についての魅力をプレゼンテーションに分かりやすくまとめる

- ・文化、食、観光名所など魅力を感じる点の画像や資料を取り入れながら、プレゼンテーションを作る。

⇒ **お薦めグルメなどを入れ、行きたくなるプレゼンテーションにしたい、話し方や見せ方、呼びかけ方も工夫したいする。**

3 班ごとや学級全体で、その魅力を伝え合う

- ・友達から質問を受けたり、家族からアドバイスをももらったりし、よりよいプレゼンテーションにする。

◎ 1人1台端末を活用し、授業時間だけでなく、家庭学習などでも取り組めるので、意欲が高まりよりクオリティの高いプレゼンテーションを作成することができる。

☆ 家庭学習でも取り組むと、家族で訪れた時の思い出や画像なども取り入れやすい。

他のグループと協力して考えを深めよう(1)

中学校3年 総合的な学習「SDGsわたしたちにできることを考えよう」

「未来は私たちの世界～SDGs私たちがつくる持続可能な世界～」－A3横－（協働学習中）

14 海の豊かさを
守ろう

海はきれいなのか？

①海に漂流しているプラスチックが50年で20倍になっている。
②海洋生物の減少 1970年代と比べ49%の量しかいない。
③漁業従事者の仕事がなくなってしまう。
④世界中のサンゴの3分の1が絶滅の危機にさらされていること。
これら4つの事柄を知り、人間の行動による種の絶滅はあってはならないと考えたから。

選んだ理由

原因

- ・30億人以上が魚介類を摂取している。・世界の漁業資源の30%が乱獲されている。
- ・海洋が人間が作り出した二酸化炭素を約30%吸収し、26%海洋酸化が進んでいる。
- ・陸上からの排出物（ごみ）による海洋汚染1平方キロメートル当たり1万3000個のプラスチックごみが見つかった。

対策

- ・ポイ捨てをしない。・マイバッグ、マイペットボトルを使う。
- ・ペットボトルをリサイクルにだす。
- ・海の生物に興味を持つ。・ごみの分別。

海洋のプラスチックのごみの増加スピード異常!!!
このままじゃ絶滅してしまうかも…

1年間に800万t 東京スカイツリー222基分

毎年800万tもごみが出ており、東京スカイツリー222基分です。この図からごみの異常な量がわかります。

大好物のクラゲとビニール袋を間違えて食べてしまうウミガメ…みんなの命を救っていきましょう!!!

このきれいな海を守っていきましょう!!! そのためにはみんなで協力していくことが、必要です。(グレートバリアリーフ)

ごみを大量に食べてしまい餌を食べられなくなったクジラ。あまりにもひどすぎます…

1 班ごとにテーマを決めて調べる

- ・SDGsに関連した世界的な問題についてのテーマを1つ決めて調べる。

2 調べたことを班で協力してまとめる

- ・コラボノートに調べたことをまとめていく。他のグループのまとめの様子を参考にしながらまとめる。
- ・インターネットで見つけた図や写真を、まとめのページにはりつける。

⇒ **同時に作業をすすめることができ、班のメンバー全員がまとめに参加することができる。**

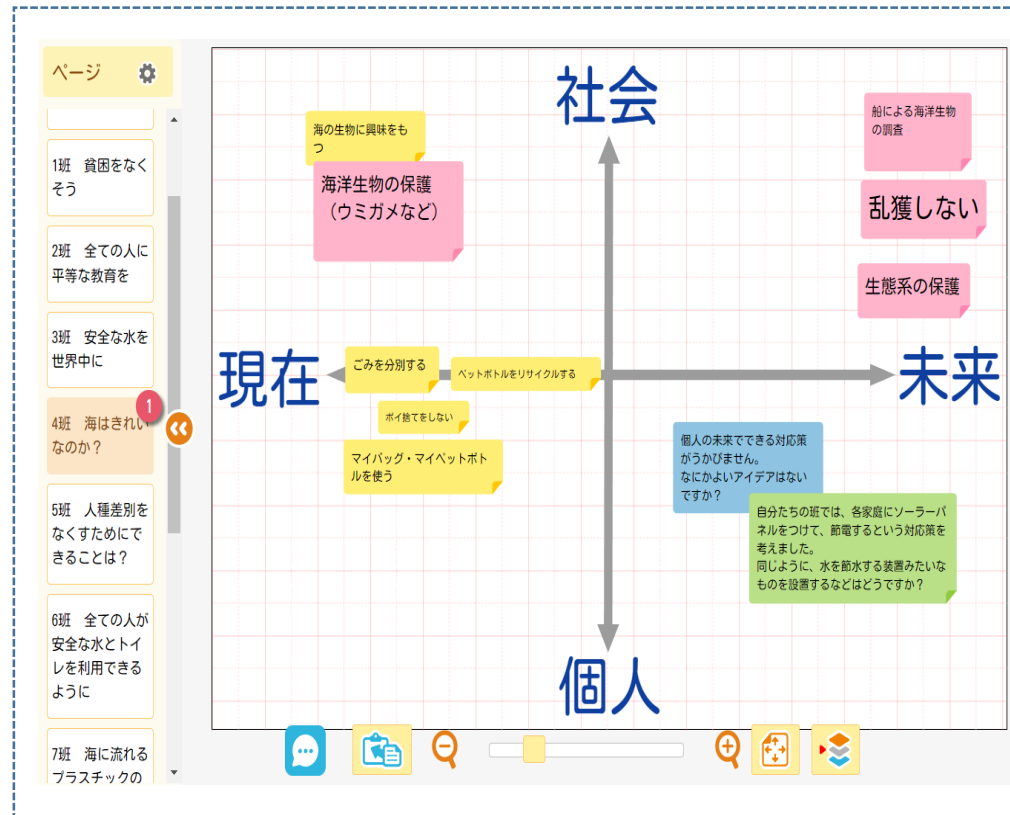
3 班ごとに発表する

- ・まとめたことについて発表する。

- ◎ コラボノートを活用することで、他のグループのまとめの様子をいつでも見ることができる。
- ◎ 同時にまとめ作業をすることができるので、班のメンバー全員が参加でき、協働的に活動できる。
- ◎ コラボノートには家庭の端末からもアクセスできるので、授業時間外に作業をすすめられる。

他のグループと協力して考えを深めよう(2)

中学校3年 総合的な学習「SDGsわたしたちにできることを考えよう」



1 考えた解決策を2つの軸で分類する

- ・ 前時までに考えた解決策(黄色の付箋)を「現在・未来」「社会・個人」の2つの軸で分類する。

2 解決策をさらに考える

- ・ 分類して足りない部分の解決策を班で話し合いながら考えていく。(赤色の付箋)
- ・ 班の中で考えられないときは、アドバイスを求める。(青色の付箋)
- ・ 他の班の解決策を見て参考にしたり、アドバイスをしたりする。(緑色の付箋)

⇒ **いつでも他の班の解決策を見て参考にしたり、アドバイスをし合ったりして、よりよい解決策を協働的に考えていくことができる。**

3 班ごとに発表する

- ・ 考えた問題の解決方法について発表する。

◎ コラボノートを活用することで、他のグループの考えを見ることができ、参考にしたり、アドバイスし合ったりと協働的に学習をすすめられる。

◎ 道徳など、2つの軸で考える他の学習に生かすことができる。

必要なドリル学習を選んで取り組み、基礎基本の定着を図ろう

全学年 全教科「学年、教科、単元を選んで、個々にドリル学習を行い、学びを蓄積する」



- 1 朝の帯時間に、教科、単元を指定してドリル学習に取り組み、基礎基本の定着を図る
 - ・朝の帯時間や休み時間などを使って、こまめに学習を積み重ねることができる。
- 2 授業中、問題演習が早く終わった場合も、ドリル学習に取り組むことで、基礎基本の一層の定着を図る
 - ・正答率やどの学習に取り組んだかななどの記録も蓄積されるため、児童も教師もその子の学びを分析できる。
- 3 家庭でも、自分の苦手な単元や、興味のある単元を自分で選んで学習し、学びに向かう力を高める

⇒ **学年を戻って復習したり、次の学年の内容を予習したいすることで、自分に最適な学びを選ぶことができる。**

◎ 学習の記録をもとに、一人一人に合った学習、必要な学習を教師が提示することで、より最適な学びへと導くことができる。

☆ 何が必要か、興味あることをどう伸ばしたいかなどを考え、自分で選択して取り組む姿を目指したい。

授業の板書を撮影、蓄積し、活用しよう

全学年 全教科「学習したことや他の児童生徒の考えを自分の学びに生かす」



1 授業の終わりに、板書を撮影し、重要なポイントや共感できる友達の考えなどをマーキングして保存する

- ・次時の授業のはじめに、前時の板書を確認し、学びに向かう力を高める。
- ・モニターに投影された資料や友達の考え方なども撮影保存しておく、後で振り返って見ることができる。

⇒ **今までの板書画像に、自分の考えや気付きも書き込んでモニターに投影し、発言の際の根拠として見せることもできる。**

2 過去の板書をさかのぼって見返すことで、本時の学びを深める一助とする

- ・家庭学習でも板書画像を再確認できる。

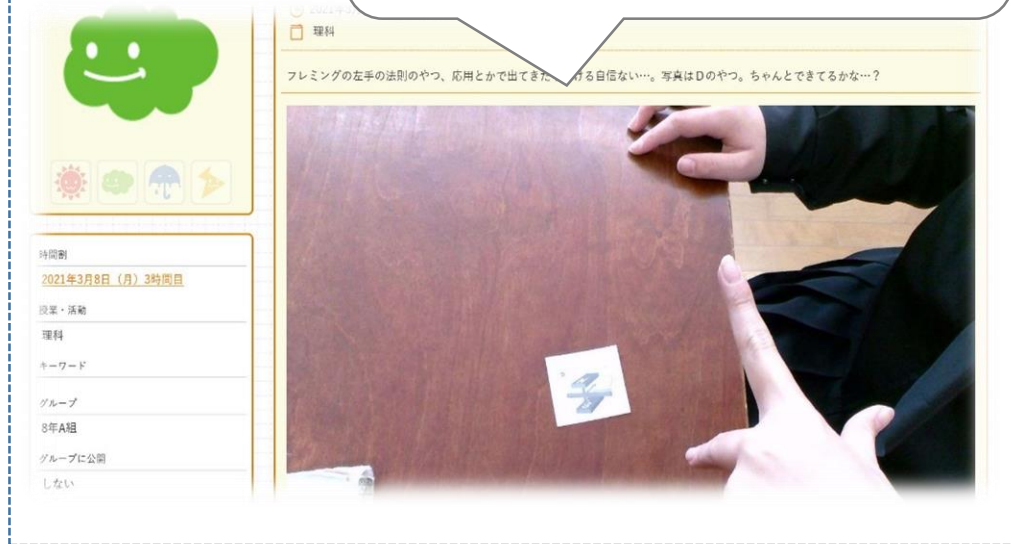
◎ 板書撮影は補助的なものと考え、その授業の学びや気付きなどをノートに記述することを大切にする。

☆ 自分が必要だと思う板書の記述や資料、友達の考え方などを撮影、蓄積し、次時の授業や家庭学習などで活用するということを繰り返すことで、学び方を学ぶことができる。

授業のまとめを自分で表現し、自分を振り返ろう

全学年 全教科 授業の振り返り

フレミングの左手の法則，応用と
か出てきたら解ける自信ない・・・
ちゃんとできてるかな...？



1 授業の振り返りで、スクールライフノートを使う

- ・授業の最後に時間をとって行う。
- 2 まずは、今日の授業のイメージを晴・曇り・雨・雷の中から1つ選ぶ
- ・今日の授業のイメージを選択で選べるので、誰でも答えることができる。

3 その後、写真や文章を使って、今日の授業の振り返りを作成する

- ・振り返りに写真を入れることで、文章を書くことを苦手としている生徒も、意欲的に振り返り活動を行うことができる。

⇒ **自分で今日の授業を振り返ることができる。**

- ◎ 紙に書いていた時より、しっかりと振り返りを行うことができる。
- ◎ データとして蓄積するので、ポートフォリオとして活用することができる。
- ◎ 今のところ、システム上、先生からの返信ができないことが課題である。